

個性派企業の追求～社会貢献企業実現のために

昭和電工株式会社

2008年第1四半期 決算説明資料

2008年5月8日発表

取締役 常務執行役員 CFO
野村 一郎



本資料は発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後、市況や為替レートの変動などを含む様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

連結対象会社

■ 連結子会社 38社

■ 新規連結 1社

● ガンシュウ 贛州昭日稀土新材料有限公司

(非連結子会社→連結子会社、電子・情報セグメント)

■ 連結除外 1社

● 国際衛生(株) (売却、化学品セグメント)

■ 持分法適用会社 22社

■ 増減なし

注.増減は前期末対比

主要諸元

	2007年1-3月	2008年1-3月	増減
■ 為替レート ※ (円/US\$)	期中平均 119.5	105.3	14.2高
■ 国産ナフサ (円/KL)	48,800	66,700	+17,900
■ アルミ LME (US\$/T)	2,747	2,785	+38

※07年12月31日期末レート114.2円

08年3月31日期末レート100.2円

⇒ 14.0円円高

連結業績の概要

2007年1-3月 対 2008年1-3月

(億円)

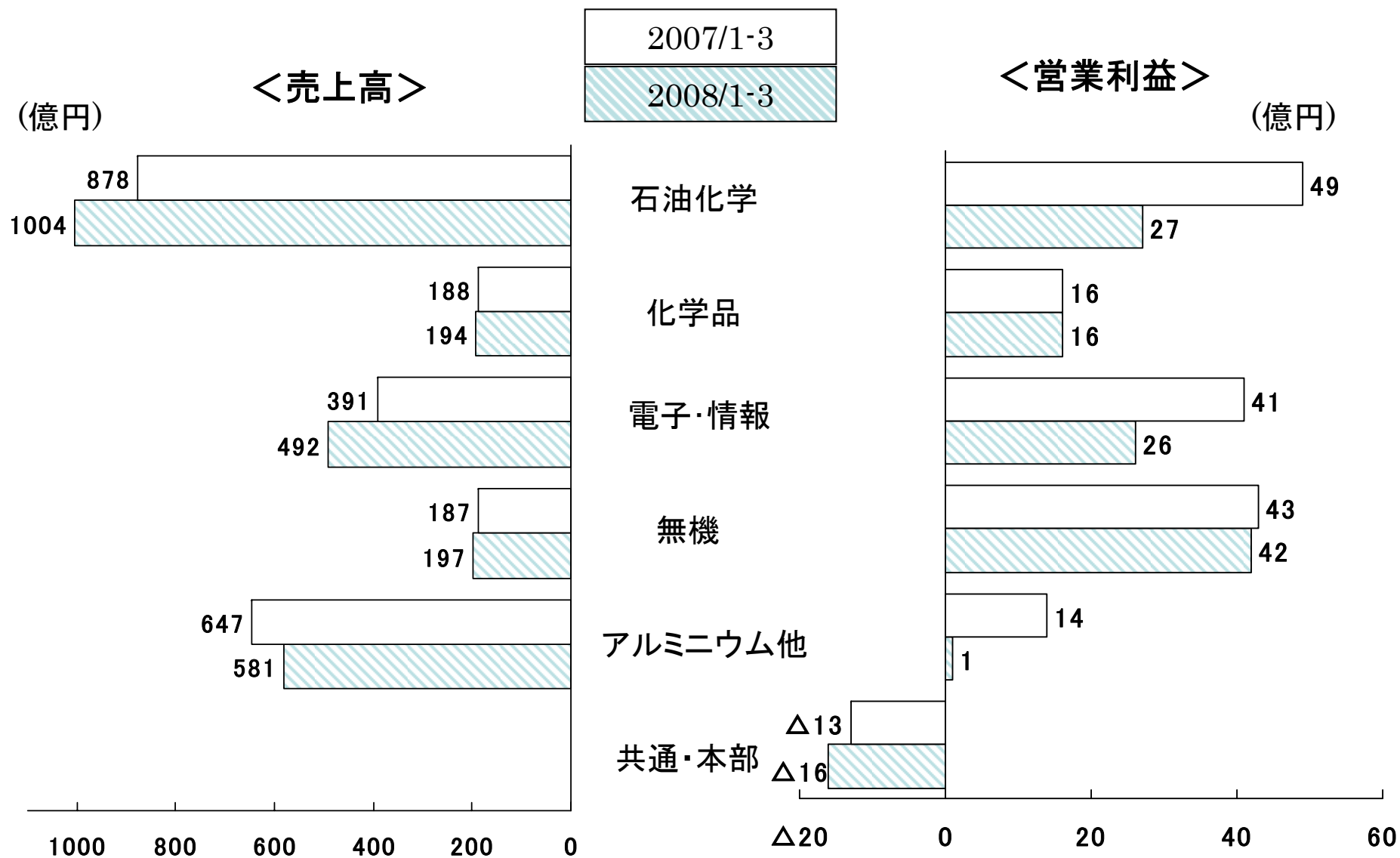
	2007/1-3	2008/1-3	増減	伸率
売上高	2,291	2,469	+178	7.8%
営業利益 [売上高営業利益率]	150 6.6%	97 3.9%	△53 △2.7 [°] ㄱ	△35.3%
営業外損益	△44	△49	△5	
うち金融収支	△16	△17	△1	
うち持分法損益	10	4	△6	
うち為替差損益	2	△30	△33	
うちHD新工場立上げ費用	△19	0	+19	
経常利益	106	48	△58	△54.5%
特別利益	18	28	+10	
特別損失	△7	△12	△5	
税金等調整前四半期純利益	117	64	△53	
法人税等	△47	△29	+17	
少数株主損益	△6	△3	+3	
四半期純利益	65	32	△33	△50.4%

特別損益の内訳

(億円)

	2007/1-3	2008/1-3	増減
■特別利益	18	28	+10
●固定資産売却益	2	7	+5
●投資有価証券売却益	7	5	△2
●その他	9	16	+6
■特別損失	△7	△12	△5
●固定資産除却・売却損	△2	△3	△0
●投資有価証券評価損	—	△5	△5
●その他	△5	△5	△0
■特別損益	11	16	+5

セグメント別業績の概要



連結売上高差異内訳

(億円)

	2007 1-3	2008 1-3	増減	項目
石油化学	878	1,004	+126	オレフィン: 価格上昇、有機: 前年同期並み
化学品	188	194	+6	AN、「ショウブレン®」: 数量・価格共に堅調 アンモニア: 価格上昇 アミノ酸類: 数量増
電子・情報	391	492	+101	HD: 能力増強寄与により増収 化合物半導体: 汎用LEDの数量減により減収 レアアース: 数量増、価格上昇により増収 特殊ガス: 僅かに増収
無機	187	197	+11	セラミックス : 僅かに増収 カーボン : 電極は原料高に伴う販売価格上昇
アルミニウム 他	647	581	△66	アルミ地金: 販売数量減 圧延品: 一般箔から撤退による数量減 高純度箔は堅調 押出・機能材: 一般押出品が建築市場低迷で数量減 熱交換器: 国内・米国数量減、欧州は増収 アルミ缶、ショウティック: 数量減
合計	2,291	2,469	+178	

連結営業利益差異内訳

(億円)

	2007 1-3	2008 1-3	増減	項目
石油化学	49	27	△21	オレフィン:輸出の採算悪化(誘導品定修) 有機:酢酸がメタノール価格高騰・市況低迷
化学品	16	16	+0	AN、「ショウプレン®」:数量・価格共に堅調 アミノ酸類、「ショウデックス®」:数量増
電子・情報	41	26	△15	HD:能力増強による償却費増、生產品目切替え 円高(予約レートの前年同期との差) レアアース:数量増・価格上昇により増益 超高輝度LED等:開発費増加
無機	43	42	△1	セラミックス:原燃料価格高騰により減益 電極:輸出・国内の需要が堅調で増益
アルミニウム 他	14	1	△12	圧延品:コンデンサー用高純度箔は数量増、価格上昇 押出品:建築関連の一般押出品数量減、燃料アップ ショウティック、熱交換器:数量減 アルミ缶:前年同期並み 卸電力事業:燃料価格高騰の転嫁にタイムラグ
共通・本部	△13	△16	△4	次世代テーマ関連R&D増加
合計	150	97	△53	

連結貸借対照表

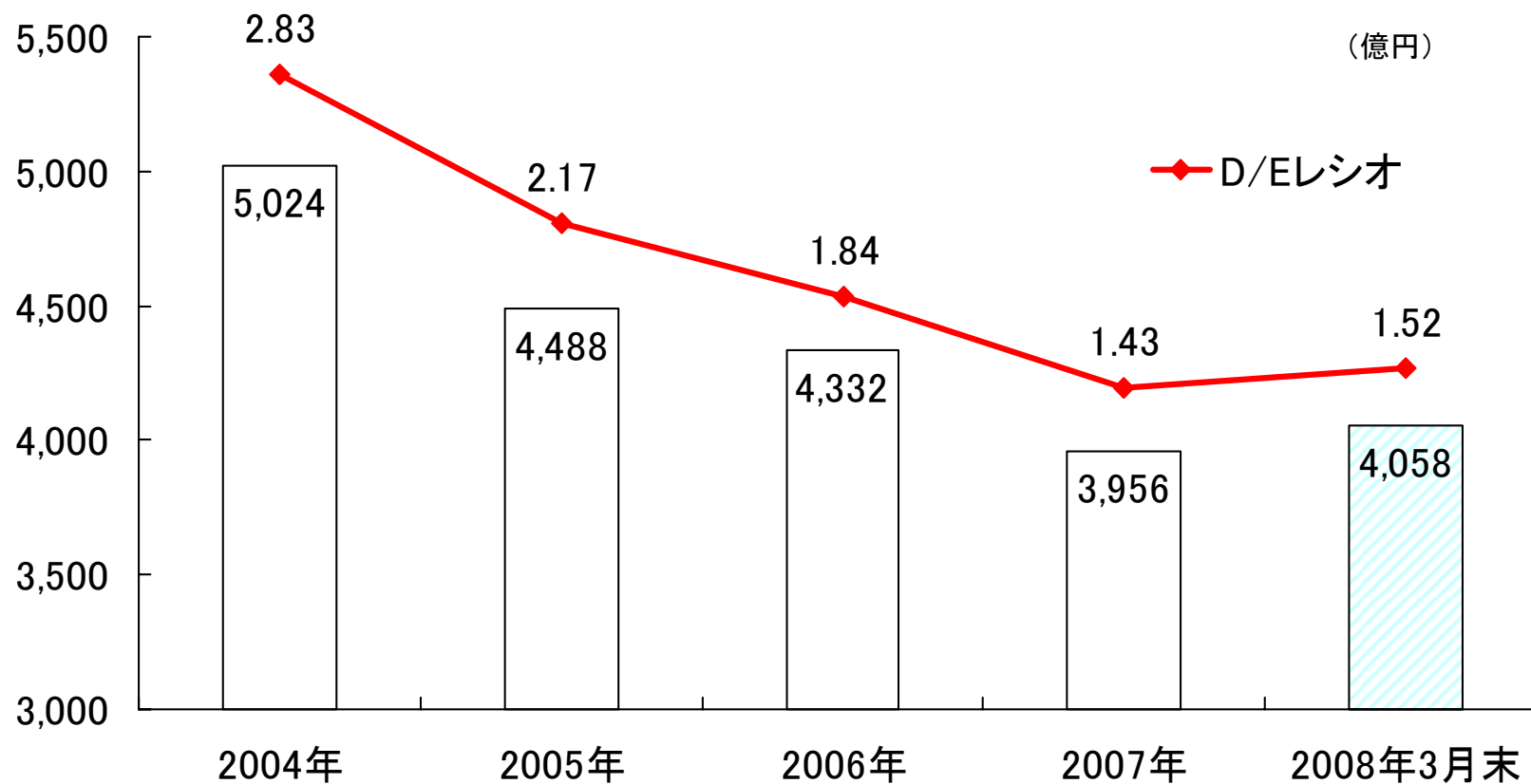
(億円)

資産	2007年 12月末	2008年 3月末	増減	負債・純資産	2007年 12月末	2008年 3月末	増減
現預金	319	270	△49	営業債務	1,686	1,439	△247
営業債権	1,776	1,478	△298	有利子負債	3,956	4,058	102
たな卸資産	1,093	1,205	111	退職給付引当金	312	303	△9
その他	295	350	54	その他	1,355	1,284	△72
流動資産計	3,484	3,303	△181	負債計	7,310	7,084	△225
				資本金	1,219	1,219	—
有形固定資産	5,593	5,488	△105	資本剰余金	379	379	0
無形固定資産	151	144	△7	利益剰余金	759	728	△31
投資その他の資産	1,068	1,031	△37	自己株式	△2	△2	0
				株主資本計	2,355	2,324	△31
				その他有価証券評価差額金	161	123	△38
固定資産計	6,813	6,663	△150	繰延ヘッジ損益・為替換算調整勘定	22	△10	△32
				土地再評価差額金	237	237	—
				評価・換算差額等計	419	349	△70
				少数株主持分	213	208	△5
				純資産計	2,987	2,881	△106
資産合計	10,296	9,965	△331	負債・純資産合計	10,296	9,965	△331

総資産・有利子負債・D/Eレシオ・自己資本比率 前期末比

■ 総資産	9,965億円	△331億円
■ 有利子負債	4,058億円	+102億円
■ D/Eレシオ	1.52倍	+0.09p
■ 自己資本比率	26.8%	△0.1p

連結有利子負債の推移



自己資本比率	18.8%	21.0%	22.7%	26.9%	26.8%
--------	-------	-------	-------	-------	-------

2008年中間業績予想

(億円)

	年初予想 2月7日公表	今回修正予想 5月8日公表	増減	内訳
売上高	5,350	5,100	△250	P13 参照
営業利益	330	240	△90	P14 参照
経常利益	260	160	△100	営業利益差、為替差損
中間純利益	140	85	△55	

セグメント別中間売上高予想(連結)

(億円)

	年初予想 織り込み	今回修正予想 5月8日公表	増減	主な内訳
石油化学	2,050	2,000	△50	オレフィン輸出価格低迷・ 酢酸販売数量減少
化学品	400	400	0	
電子・情報	1,250	1,100	△150	HD生產品目切替えによる数 量減(主に1Q)
無機	400	400	0	
アルミニウム他	1,250	1,200	△50	建材・自動車向け数量減、 アルミ缶数量減
合計	5,350	5,100	△250	

セグメント別中間営業利益予想(連結)

(億円)

	年初予想 織り込み	今回修正予想 5月8日公表	増減	主な内訳
石油化学	70	55	△15	オレフィン輸出採算低下(誘導品定修)、酢酸原価高・市況低迷
化学品	30	30	0	
電子・情報	130	90	△40	HD生產品目切替えによる数量減(主に1Q)、円高(海外生産コストアップ)
無機	100	90	△10	セラミックス原燃料高、米国子会社換算差
アルミニウム他	30	10	△20	建材・自動車向け数量減、アルミ缶数量減
共通・本部	△30	△35	△5	
合計	330	240	△90	

セグメント別トピックス

■電子・情報セグメント

- 垂直磁気記録方式による世界初の1.3インチハードディスクの量産本格化
- ◆本年1月より、垂直磁気記録方式による世界初の1.3インチハードディスクの量産を開始。40ギガバイト/枚の記録容量は世界最大^(注)。今後ハイビジョンビデオカメラ、携帯型音楽プレーヤー、超小型ノートPC等向け小型HDDへの採用が期待できる。

(注):世界最大:本年4月末現在、当社調べ

■化学品セグメント

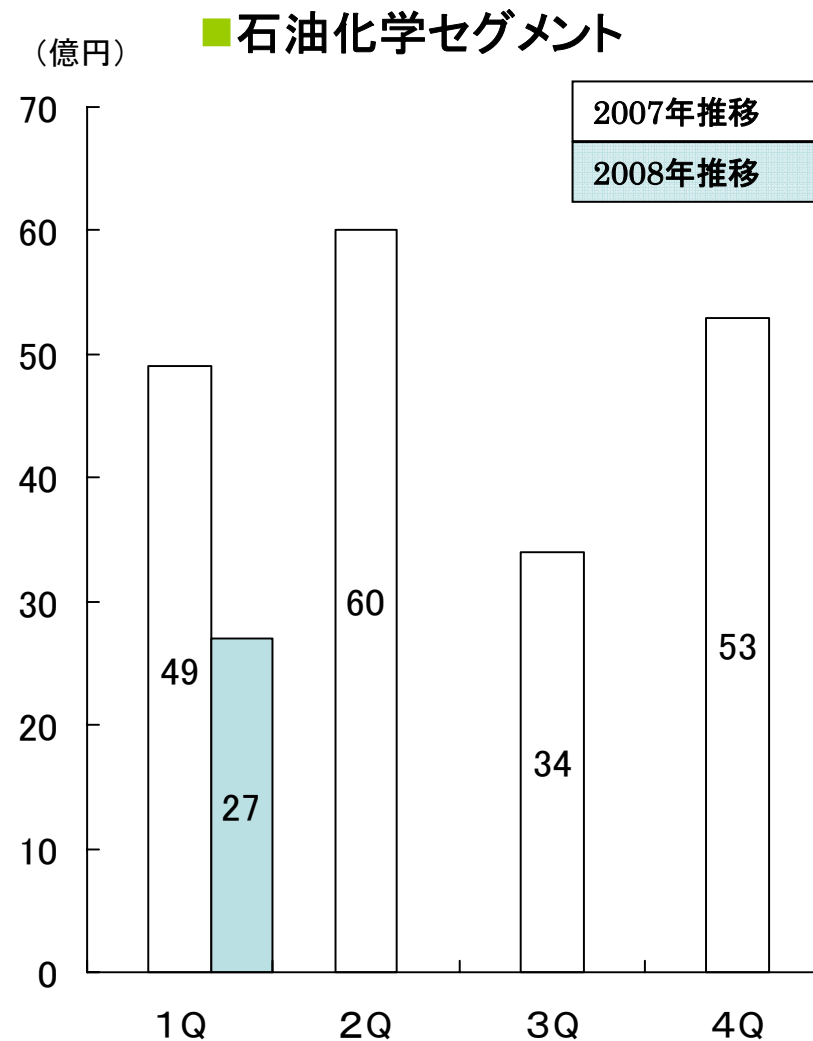
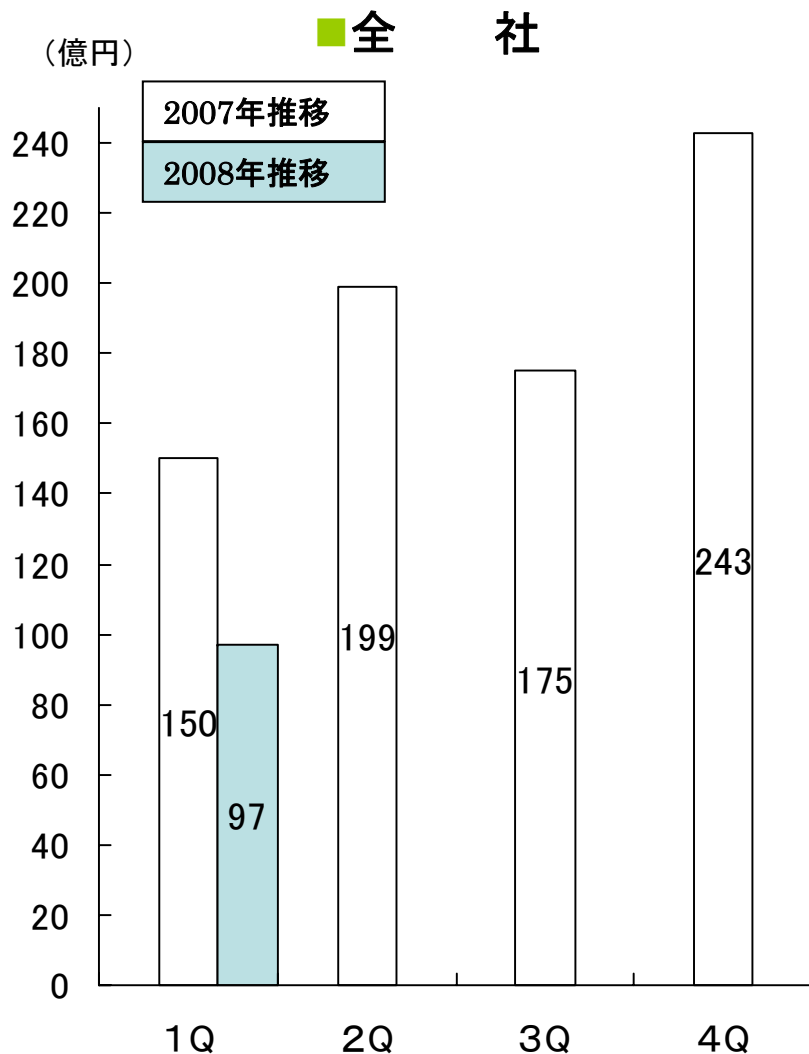
- 国際衛生(株)の株式譲渡
- ◆本年3月に、100%子会社である国際衛生(株)の株式の90%を岩谷産業(株)に譲渡。国際衛生(株)は、サニタリーおよび衛生管理を中心に事業を行っており、同社のさらなる成長を図るため、事業の相乗効果が期待できる岩谷産業(株)に事業主体を移管。

セグメント別トピックス

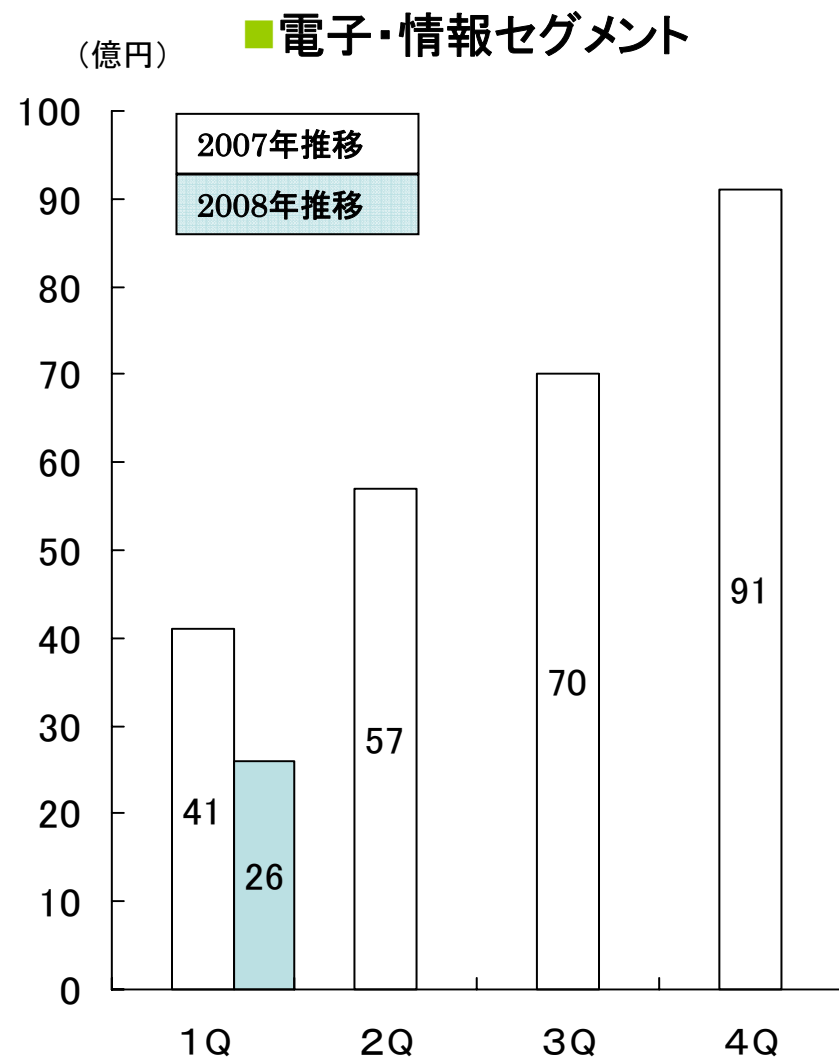
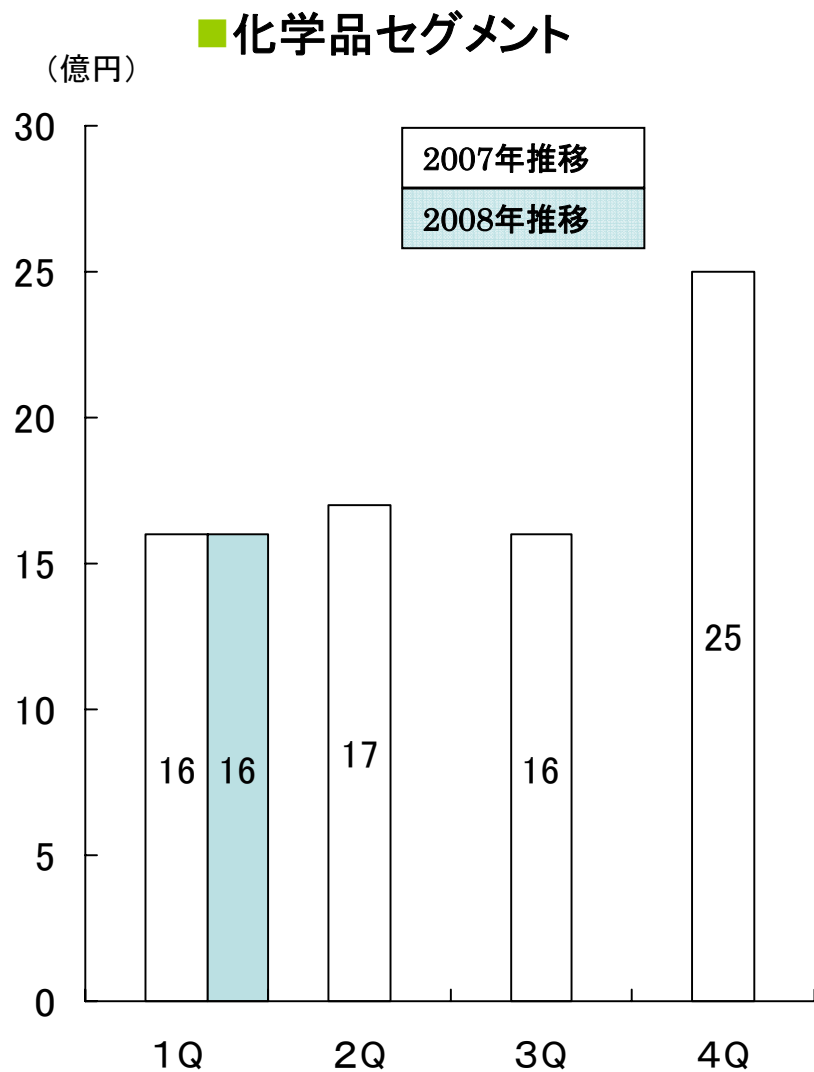
■アルミニウム他セグメント

- アルミ電解コンデンサー向け高純度アルミ塊新精製炉を竣工
 - ◆アルミ電解コンデンサー向け高純度アルミ箔の製造子会社である昭和電工堺アルミ(株)において、原料となる高純度アルミ塊の新精製炉が本年1月に竣工。これにともないアルミ電解コンデンサー用高純度アルミ箔の生産能力を月産1,500トンから1,800トン超へ増強。当社は、高純度アルミ箔において、国内および世界市場で最大のシェアを持つトップメーカーです。

(ご参考) 四半期別連結営業利益推移



(ご参考)セグメント別営業利益推移



(ご参考)セグメント別営業利益推移

